

論点（ICTを活用した校務支援システム）

校務の情報化の現状と課題

愛知県教育委員会海部教育事務所 玉置 崇

1 現状

○ 校務の情報化が進んでいる地域

- ・教職員一人1台PC配置（教職員、校内ネットワーク）
- ・各教室、保健室、特別教室等にPC配置（校内ネットワーク）
- ・グループウェア完備で業務の効率化、質の高い教育活動実施、情報の共有化とオープン化で教師力向上

例1：日々のデータ蓄積→通知表作成→指導要録作成

作成時間は従来と比較にならないほど短時間で。

通知表は情報の一元化により年間20ページほど。

全教職員から入る「児童生徒のいいところ見つけ」で保護者からの信頼厚く。

例2：CMSによる学校ホームページ

ホームページの作成が実に短時間で。

学校からの毎日情報発信で、「学校の見える化」促進。

地域、保護者からの信頼厚く。

- ・センターサーバー化により、教育委員会&市内小中学校の連携強化並びにセキュリティ強化

○ 学校における教育の情報化等の実態に関する調査（21年3月現在）より

- ・教員の校務用コンピュータ整備率・・・小学校 55.8%、中学校 56.2%
- ・校務にICTを活用する能力
「わりとできる」「ややできる」・・・小学校 65.4%、中学校 67.0%
- ・ホームページ更新状況（ホームページ開設率 小 82.7%、中 81.6%）

概ね週1回	小学校	16.6%	中学校	14.3%
概ね月1回	小学校	30.7%	中学校	30.9%
概ね学期1回	小学校	18.0%	中学校	17.2%
概ね年1回	小学校	17.5%	中学校	19.2%

2 課題

○ 校務用コンピュータ整備率による格差

グループウェア等、校務の効率化、教育の質の向上まで視野をいれた整備となると、さらに大きな差がある模様。

○ 校務の情報化の目的が十分に理解されていない。自治体への「教育の情報化に関する手引」の内容周知が必要。質の高い学校経営（教師力向上も含む）をする上で、校務の情報化は欠かせないことが理解されていない。

○ 情報化の進展に合わせた国レベルでの校務システム開発への手つかず